

日本一への挑戦は、この場所から始まる。

HANNARYZ BASE

プロバスケットボールクラブの専用練習場

KYOTO HANNARYZ
HANNARYZ
BASE



KYOTO HANNARYZ

ハンナリーズの思い

私たちは、プロバスケットボールチームとして、
「B.LEAGUE 制覇」を掲げています。
それは、単に強いチームになることではありません。
競技の頂点を目指すことを通じ、
選手とクラブも、ファンの熱量も、地域の誇りも、日本一を目指す。
それが京都ハンナリーズの“制覇”の意味です。
この場所は、ただのトレーニング施設ではありません。
選手たちが、自身の限界に挑み、新しい自分を創り出す、その始
まりの場所です。
プロが最高のパフォーマンスを追求し、子どもたちがその背中
を見て夢を抱く。
そして地域が、その熱でつながり、京都の“誇り”となる拠点を。
「選手」「子ども」「地域」
そのつながりこそが、未来へ挑む力になる。
私たちは、そう確信しています。
京都から、日本一の頂へ。
この拠点を、私たちの「本気」の証とします。
さあ、共に登りましょう。

選手と共に

個々の選手の能力向上とチーム力向上を支えるための拠点。最新のトレーニング設備と分析環境を整え、日々の挑戦を積み重ねる場所に。
ここから、日本一を目指す歩みを共に進めていく。

子どもたちと共に

プロバスケットボール選手が練習する環境を間近で体験し、スポーツの楽しさと、挑戦する力を学べる場。
ユース・アカデミーやイベント等を通して、子どもたちの“夢のはじまり”を共に育む。

地域と共に

誰もが集える地域の交流拠点に。世代を超えてスポーツを楽しみ、笑顔が生まれる空間を提供。
災害時には避難・支援の拠点として機能し、安心と活力を、地域と共に築いていく。

そして、すべての挑戦を、共に登る。



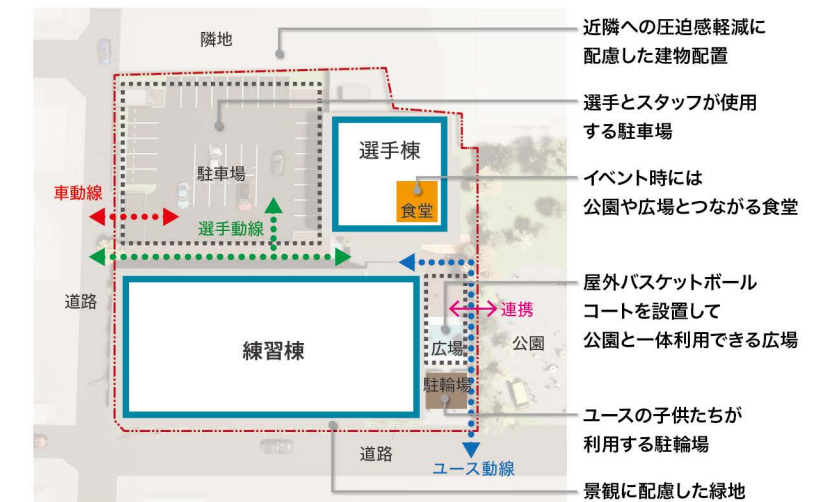
練習拠点でありながら、地域活性化の場に。



KYOTO HANNARYZ



公園連携や地域に配慮した配置計画



- 敷地内には、2棟の建物(練習棟と選手棟)、選手・スタッフ用駐車場、ユース・アカデミー用の駐輪場、屋外広場を配置しています。
- 建物はセキュリティや様々な利用シーンを想定して練習棟と選手棟の2棟構成とし、北側隣地への圧迫感軽減に配慮した配置とします。
- 公園に面する敷地内に、屋外バスケットゴールを配置して、公園との連携に貢献する計画とします。
- 選手棟内の広場・公園側に「食堂」を設けてイベント利用も想定します。

国内最高レベルの練習施設

練習棟

- 選手が日々の練習を行うための練習場や、ユース・アカデミーの子供たちが使用するロッカールームで構成される「練習棟」を計画します。
- 練習場はBリーグ規定に基づき、メインコートやシューティング用ゴール、空調を完備した、プロ仕様とします。
- 災害時には避難所使用も想定します。



選手棟

- 選手とスタッフのみが使用する選手用ロッカールーム、浴室、トレーニングルーム、食堂、ケアルーム、事務室等で構成される「選手棟」を計画します。
- 集中できる空間とトレーニング機器の充実により、選手が鍛えられるだけでなく、サウナ付き浴室で選手同士のコミュニケーションが図れます。



公園との連携による地域活性化

広場

- 公園に面する敷地の一部に、屋外バスケットゴールを配置して、日常的に地域の人々に解放された広場をつくります。
- 公園とも連携をしながら、地域の人々や子供たちにとって、バスケットボールなどのスポーツを通して、健康や交流が生み出される拠点を目指します。



食堂

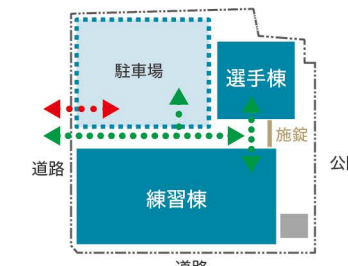
- 選手棟には食堂を完備します。食事のみならず、ミーティングなどのコミュニケーションの場としても活用されます。
- 食堂は公園とも隣接する位置とすることで、イベントなどを行う際には、それらと連携して一体的に利用することもできる計画です。



様々な利用シーンを想定した計画

選手の練習時

- 選手が練習を行う時間帯は、「練習棟」「選手棟」「駐車場」が使用できるようにしつつも、公園側とのセキュリティを設けることで、安心して練習に集中できる環境をつくります。



ユースの練習時

- ユースや学校の子供たちが使用する時間帯は、「練習棟」「駐輪場」が使用できるように開放し、選手棟や駐車場はスタッフのみが出入りできるように、セキュリティを導入します。

